

令和2年度 第7回 津有区地域協議会 次 第

日時：令和2年11月30日(月) 午後6時30分～
会場：津有地区公民館 大会議室

延べ1時間10分

1 開 会

【2分】

2 議 題

(1) 協議事項 【65分】

・自主的審議について

① 前回実施したグループワークの振り返り

② 町内会長との意見交換会について

③ 年間スケジュールの確認

3 その他

(1) 次回開催日の確認等 【3分】

- 日時 : 月 日 () 午後6時30分から
- 開場 : 津有地区公民館 大会議室
- 内容(案) : 令和3年度地域活動支援事業の採択方針等の検討について
町内会長との意見交換会について

(2) その他

4 閉 会

前回実施したグループワークの結果及び今後の取組の方向性

区分	グループ分け	南部の委員から出た意見	北部の委員から出た意見	どんな取組があったらよいか？ 審議の方向性（案）	地域協議会での取組内容（案）
課題 (困っていること・心配していること)	若者の流出	・若者が地元に残らないのは、魅力的な仕事がないことが原因ではないか。			
	安心安全	・車上荒らし等の犯罪被害が多発しているため、各小学校や神社等に防犯カメラが必要ではないか。 ・PTA や町内会でパトロールや見守り活動を行っているが、もっと活発に行ってはどうか。		(例) 防犯カメラや防犯灯の設置 (例) PTA 及び町内の安全パトロールの強化	
		・コロナ禍での災害対応は大丈夫か。			(例) 避難所等の実態調査 (例) 町内会や防災士会との意見交換 (例) 市の取組状況の把握
	高齢者の田畑の管理		・高齢化により田んぼの維持管理が難しくなるため、今後の管理や委託の問題が心配。	(例) 担い手の確保	(例) 当事者ニーズ、状況等の確認 (例) 市の施策や取組状況の把握
	空き家	・少子高齢化のため高齢者の人数が増え、後継ぎのいない家が増えており、空き家の増加に繋がっている。未婚の若者も多い。 ・更地にするほうが費用も税金も多くかかる現在の制度自体が改善されなければ、空き家の減少には繋がらない。	・四ヶ所では住宅が密集しているため、今後空き家が増えた際、除雪や管理の問題が心配。	(例) 空き家の活用・取り壊し (例) 空き家予防のための住民の意識啓発	(例) 空き家対策に関する市の取組や方針の把握 (例) 空き家の実態調査（町内で管理している空き家の数等）
	地域活動への参加・交流		・65歳まで働いている人が多く、町内会の役員や行事への積極的な参加がない。しかし、一生懸命に参加する人もいるため、現在は町内会としての活動は成り立っている。 ・平成町は、住民同士の意識が気薄。イベントが少なく交流する機会が少ないことが原因の一つ。 ・平成町はアパートが多く、アパートの住人は、ただ町内会費を払っているだけであり、ほとんど町内活動には関与していない。 ・担い手不足により、今後の町内活動への影響が心配。	(例) 誰もが参加したくなるようなイベントの実施 (例) 後継者の育成	(例) 地域活動団体との意見交換
	その他		・共働き夫婦の増加により、定時出発・定時帰りの保育園バスの利用が毎年減少していて、運営が心配。これは戸野目保育園だけではなく、上雲寺保育園でも同じ問題がある。	(例) 保育園バスの利用促進	

区分	グループ分け	南部の委員から出た意見	北部の委員から出た意見	→ どんな取組があったらよいか？ 審議の方向性（案）	→ 地域協議会での取組内容（案）
特長 （好きなところ・自慢したところ）	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ない ・自然豊か 			
	景観		（戸野目・四ヶ所・平成町） <ul style="list-style-type: none"> ・花壇が整備されている ・区画がしっかりと整備されているため、町並みの景観がよい 		
	生活		<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や小学校が近く、子育てしやすい。 		
	歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な偉人を輩出している。 		（例）歴史や文化を売りしたイベントやツアー	（例）地域活動団体との意見交換 （例）雄志中学校区（津有区・高士区・諏訪区）の地域協議会との意見交換
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・前期の地域協議会の資料を見ると、同じ課題が繰り返し議論されているような気がする。いつも同じような問題点が出ており、このままでよいのか。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが解決することはできないと思うが、問題点について声を上げていくことが大事。 		（例）地域課題についての住民への意識啓発	（例）地域協議会だよりの活用 （例）地域住民との勉強会
			<ul style="list-style-type: none"> ・地域として差し迫った課題は今のところない。ただ、これから少しずつ顕著化されると思う。 		

過去の地域との意見交換（H28・H29）で出た意見の整理

○ 実施している
 △ 一部実施している
 × 実施していない
 - 個別案件、対応不可

資料 2

大区分	小区分	地域の方から出た意見	取組状況	考え方のヒント
安心安全	安全な通学路の確保	・小中学生の通学路で歩道がなく、危険な場所があるので、地域活動支援事業を活用して「グリーンライン」を引くなど、安全確保が必要だと思う。	○	・小中学生通学路の安全整備事業（H29年度地域活動支援事業）
空き家	現状	・町内に空き家が増えている。持主が地元にはいない空き家については、除草や雪下ろしを町内会の役員が行っている状況であるため対策が必要。 ・空き家は町内会や民生委員が管理しており、所有者が分かる空き家については、町内会費を請求している。 ・空き家の所有者から管理費をもらい、管理しているところもあるが、管理する人も減っているため、継続できない。 ・町内に空き家があるが、管理は上手く行き届いていない。 ・高齢者の1人暮らしも多く、今後、空き家になる場所が増えていくので、大きな課題になる。 ・1人住まいの高齢者も何人かいるので、5年先、10年先になると空き家が増えていく。	△	・持主がいる空き家・いない空き家に分けて考える 持主がいる→持主の責任 持主がいない→市の条例等に基づく対応
	行政への要望	・現状の税制だと更地にすると税金が上がるため、そもそも税制自体がおかしいのではないか。 ・空き家は個人の財産なので、市が解決すべき。 ・行政が定めている空き家に関する条例や計画をきちんと伝えていただきたい。	○	・上越市空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例の施行（H27） ・上越市空き家等対策計画の策定（H28）
地域活動の活発化	地域の組織	・津有区全体の意見をまとめることができる受け皿（組織）が少ない。 ・南部地区には「北部振興会」のような組織がないので、南部にもそのような組織が必要ではないか。	○	・津有地区地域づくり協議会、津有区地域協議会 ・南部地区の組織の必要性の検討、複数の町内で構成する団体の把握
	イベント	・南部地区の全員を対象としたイベントがあると活性化するのではないか。 ・津有区全体のイベントについては、北部地区では色々実施しているが、南部地区では、昔はやっていたが今はやっていない。 ・各地域に活動団体等があるため、活動団体にもっと引っ張ってもらい、イベント等を開催してもらえればよい。	△	・南部地区のイベントがなくなった理由の分析 ・津有北部地区スポーツクラブ、津有地区地域づくり協議会の活用
	活動への参加	・派遣や土日に働く人が多くなっているため、地域として土日の活動に顔を出してもらえない人が多くなっている。 ・町内会長自体も再雇用等で65歳まで働いている人が多く、地域のこと出来ない人が増えている。 ・町内に新しい家族が入って来ても、なかなか地域の行事に参加してもらえない。新しく入って来た方と交流できるきっかけをつくる方法を検討したい。	×	・計画や立案の段階から若年層を巻き込む仕掛けづくり
地域コミュニティの維持	後継者不足	・町内会の各世代で話し合いを行い、若者の意見も取り入れた中でやっていけることがあればよい。 ・町内会では役員のなり手がいないため、持続可能な町内会が徐々になくなっている。 ・若者の交流会といっても、若者を引っ張る人がいないので、今の状態では無理なのではないか。 ・現在、活動をしているリーダーは一生懸命取り組んでいるが、次の世代がいないと、活動団体そのものが消滅する可能性があるのではないか。 ・町内会の祭り等の行事がマンネリ化している。また、実行委員の後継者がいないため、いつまで続けられるか分からない。 ・少子高齢化が深刻である。町内によっては、数年後には町内会を維持できないのではないかと...というところもある。 ・地域で開催される学習会の参加者が中高年に偏り、若年層の参加が少ない。	×	・計画や立案の段階から若年層を巻き込む仕掛けづくり ・リーダーの育成・発掘
	消防団の担い手不足	・消防団員が不足しているため、いざという時に対応できるか不安だ。消防団員を確保できる方法（消防団の合併など）を検討してはどうか。 ・若い方が少ないのと仕事が忙しい方が多いためか、消防団員を集めるのに苦労している。入っていただいても「名前だけ」になっているケースもある。	○	・消防団の体制の見直しと団員確保等に向けた取組（市）
	リーダーの育成	・住みよい地域を作るため、広域性は低く小さな団体でもよいので、輪が広がるようにリーダーを育てる仕組みが必要である。 ・また、全体の意思統一を図り、リーダーを養成していくことも大事。 ・地域におけるリーダーの存在が必要なため、育成を行う。	△	・津有地区地域づくり協議会主催の生活環境改善学習会（地域づくり組織活動の実践やリーダーの掘り起こし・養成、地域活動の盛り上げ方などについて、視察を通して学ぶ） ・公民館講座の活用

裏面あり

○ 実施している
 △ 一部実施している
 × 実施していない
 - 個別案件、対応不可

大区分	小区分	地域の方から出た意見	取組状況	考え方のヒント
高齢者支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化のため、高齢者の一人暮らしや高齢者のみ世帯が増えている。町内会長のところへ高齢者の方から頻りに電話が来ることもある。(苦情・相談など) 町内会長も困っているので、何か解決策を検討できないか。(地域全体で高齢者を支える仕組みなど) ・ 高齢者の「いきいきサロン」の運営については、今後の課題である。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域全体で高齢者を支える仕組みの構築 ・ 津有地区地域づくり協議会によるサロンの運営 (H30.4～)
高齢者の田畑の管理		<ul style="list-style-type: none"> ・ 畑や田んぼなど高齢者が管理している場合が多いが、後継者のいない家は、今後どうなるか心配。 	—	
人口減少対策	若者の流出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者が都会に出ていくということは、地元の働き場所の確保が難しいからだ。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理由の分析が必要だが、難しい
	視察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口増加策に取り組んでいる地区を視察し、移住対策や婚活等、津有区でできる事を検討してはどうか。 ・ 津有区全体で少子高齢化や人口減少が問題となっているが、町内別に見ると人口が増えている地区もある。増えている地区は何か努力をしているのか(祭りを工夫するなど)、話を聞いてみたい。 	×	
	結婚・婚活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の結婚観に関して、上越市の結婚の状況等の資料があれば活用できるのではないかな。 ・ 津有区でも人口減少が課題となっているので、地域活動支援事業を活用して「婚活イベント」を開催できないか検討したい。 ・ 婚活の支援を昔の行政単位で行っているようだが、広範囲のものがあってもよいのではないかな。 	×	
	行政への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元には大きな大学があれば、地域外からも若い人が来るため、高齢化もなんらかの活性化ができるのではないかな。 ・ 市に要望することは、企業及び学校を誘致し、職場を増やすことが必要だ。(地域で解決できることはない。) ・ 市への要望として、若者に魅力のある町づくり、働き場所の確保、企業の誘致、結婚問題も含め、魅力あるまちづくりを行ってほしい。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第6次総合計画の推進
生活環境の向上	ポイ捨て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の農道への「ポイ捨て」が絶えない。おそらく町内の方ではなく、見知らぬ車が止まっていた後にゴミが落ちていることが多い。注意喚起の看板を設置するなど、対策を検討したい。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雄志中学校生徒によるポスター(看板)の設置(H28年度地域活動支援事業)
	ごみの分別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸野目や平成町はアパートが多いこともあり、年度末になると引っ越しする人が多く、ゴミを分別しないまま大量に捨て、出て行ってしまうケースが多く問題になっている。 	—	
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の統廃合計画がどの程度進んでいるか、津有区にも影響があるかを知りたい。また、地域の皆さんが統廃合についてどのように考えているか聞いてみたい。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の統廃合に関する市の方針
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 津有区全体に関わるような会議は、どのような内容が話されているか情報提供してほしい。 	○	<ul style="list-style-type: none"> (地域協議会) ・ 地域協議会だより ・ 町内会長との意見交換会 ・ 地域協議会活動報告
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の小中学校に入学してほしいが、少子化により部活動の種類が少なく、希望の部活がないため、他の学校へ通学している子もいる。部活動のあり方や活性化について、学校と協議できないか。 	—	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸野目保育園の駐車場や広場の整備が必要などが増えており、諏訪区など地区外からの入園もあるため、統合などを考えなければいけないのではないかな。また、地区外から通う園児もいるため、通園バスの運行範囲を広げてはどうか。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の統廃合に関する市の方針
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 津有区に県立武道館が建設される予定だが、その進捗状況を知りたい。また、武道館建設予定地の周りにある市の土地をどのように活用していくかを地元として検討できないか。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ R1.12 開館

町内会長との意見交換会について（案）

1 開催の趣旨

① 自主的審議について

地域の課題等に係る自主的な審議において、地域の実情を踏まえて議論するため、まちづくりの中核を担う町内会長の意見を聴取するもの。

② 地域協議会について

町内会長に地域協議会に対する理解を深めてもらうことで、今後の連携の糸口とするもの。

2 意見交換のテーマ

地域の課題等について（課題の状況、対応策等）

※津有区地域協議会で検討した「津有区の課題・特長」を資料として配布する。

3 日時・会場（町内会長連絡協議会との調整後に決定）

○ 日時（未定） 令和3年1月頃（1時間半～2時間程度）

○ 会場（未定） 津有地区公民館 2階 大会議室

4 出席者

① 津有地区の町内会長（全32町内会）
② 津有区地域協議会委員（12人） } 計43人（重複者1人）

※欠席の町内会には、書面で意見を頂戴する。

5 実施方法

(1) 当日の進め方

① 次第（案）

- ・ 開会のあいさつ（地域協議会長、町内会長連絡協議会長）
- ・ 自己紹介（全員）
- ・ 地域協議会の役割、これまでの活動、意見交換会開催の趣旨の説明（事務局）
- ・ 意見交換（町内会長・地域協議会委員混成の6人～7人の班に分かれて実施）
- ・ 発表（各班の代表者）
- ・ フリートーク（全員）
- ・ 閉会のあいさつ（地域協議会副会長）

(2) 意見交換会終了後の対応

① 地域の課題等を整理し、自主的審議テーマの決定に係る議論の基礎資料とする。

項目	詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
A 自主的審議	研修					【第4回協議会】 ○高土区の概要			※(必要に応じて)会議運営に関する研修等	適宜				
	審議					【第4回協議会】 ○地域の課題や今後の進め方についてフリートーク	【第5回協議会】 ○町内の実態について意見交換	【第6回協議会】 ○地域の課題や特長について意見交換	【第7回協議会】 ○意見の整理等	【第8回協議会】 ○「町内会長との意見交換会」の詳細打合せ		【第9回協議会】 ○自主的審議テーマの検討・決定		
	地域との意見交換等										※(仮)町内会長との意見交換会			
B 地域活動支援事業	令和2年度事業	○当初募集(4/1~4/24)		【第2回協議会】 ○審査・採択	【第3回協議会】 ○採択結果の検証・課題等の洗い出し									
	令和3年度事業						(反映)			【第8回協議会】 ○募集要綱・採択方針等の決定				○募集
C その他	協議会だよりの発行(班回覧)				○第64号(主な内容)新委員紹介・地域活動支援事業採択結果						○第65号(主な内容)新年のあいさつ・活動報告・事前説明会の開催告知		○特別号(地域活動支援事業応募の手引き)	
	市からの諮問・報告事項等				【第3回協議会】 ○「公の施設の再配置計画」の策定について				随時					
	地域活動フォーラム(市主催)								※令和元年度は11月に開催					
	その他		【第1回協議会】 ○会長・副会長の選任ほか						○地域協議会会長会議の開催(11/25)					

【メモ】